

研究分野 オペレーションズ・リサーチ, 応用数学

キーワード 意思決定, AHP, DEA, 合意形成, スポーツデータ, パフォーマンス評価

主観的意思決定とパフォーマンス評価

理工学部 共創理工学科 数理科学コース
<http://lab.ms.oita-u.ac.jp/t-obata/>
准教授 小畑 経史 (Tsuneshi Obata)



研究概要

1. 主観的意思決定

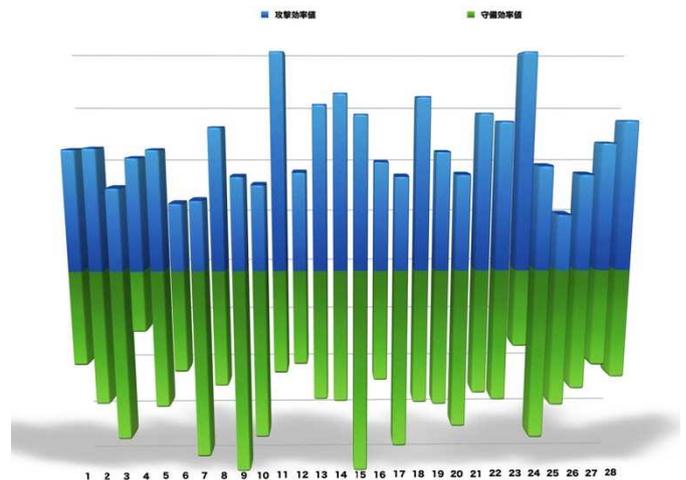
主観的な意思決定法である AHP (階層化意思決定法) を対象にして, 個人の好みのような客観的には測れない評価基準による判断を数理的に扱うための研究を行なっている. 人間の主観的評価の奥にある数理的なメカニズムの解明を目指す.

2. 集団意思決定

投票データのような集団による意思表示をもとに, 集団全体としての意思を決定するための手法や, 評価対象間の類似性を評価する手法について研究している.

3. スポーツデータ解析

事業体の経営効率性評価手法である DEA (データ包絡分析法) を使って, スポーツにおける選手やチームのパフォーマンスを評価する研究を行っている. 右の図はサッカーチームの選手の組み合わせによる攻撃と守備のパフォーマンスの違いを視覚化したもの.



アピールポイント (技術・特許・ノウハウ等)

- オペレーションズ・リサーチ手法の Web アプリケーションを作成し, 公開している. コンピュータプログラムの開発が可能.

応用可能な分野

- 消費者の嗜好の分析
- 経営戦略の選択
- スポーツチームや選手の評価